

人形浄瑠璃文楽 今年も上演

10月10、11日 岡谷の照光寺

吉田さん(文楽座)が八重垣姫担当

諏訪地域の考古学や歴史学などの研究者らでつくる一般社団法人「大昔調査会」は10月10、11の両日、人形浄瑠璃文楽の演目「本朝廿四孝 奥庭狐火の段」の公演を岡谷市本町の照光寺光明閣で開く。「諏訪神仏プロジェクト」の関連イベントとして諏訪地方で初めて上演した昨年に続いて2回目。今回は文楽座人形遣いの吉田勘彌さん(68)が八重垣姫の主遣いを担当する。一般向けチケットを9月1日午前9時から販売する。(有賀政宗)

チケット販売来月1日から

「本朝廿四孝」は上杉謙信 描いた作品で、諏訪を舞台に
と武田信玄の川中島の合戦を八重垣姫の情熱的な恋を描い

た演目。「奥庭狐火の段」は
全5段の中でも特に人気が高
い。子どもたちにも文楽に触
れてもらおうと、今回は11日

用する。

本公演では、人形遣い体験
や御諏訪太鼓の奉納演奏、吉
田さんと八剣神社宮司の宮坂
清さんの対談などもある。人
形浄瑠璃文楽の地方公演は年
々少なくなっているといい、

吉田さんは「諏訪湖のすぐ近
くで八重垣姫を演じるのは楽
しみ。特別なパワーをもらえ
る気がする」と意欲を見せる。
大昔調査会の高見俊樹理事長
(66)は「お寺という特別な場
所での公演を、地域の多くの
皆さんに楽しんでもらいたい」

と呼び掛けている。

両日とも午後6時開演(開
場は午後5時)。チケットは一
般5000円で、全席自由。
定員は各日144人。照光寺、
ぎん月(下諏訪町)、笠原書店
岡谷本店(岡谷市)か、イン
ターネット(SHIKIオン
ライストア)で販売する。
下諏訪町観光振興局は公演を
特別席で鑑賞でき、リハーサ
ル見学などの体験ができる鑑
賞券付きの宿泊ツアー(各日
10人限定)を企画し、予約を
受け付けている。

公演に関する問い合わせは
照光寺(電話0266・22
・2314)へ。



人形浄瑠璃文楽「本朝廿四孝 奥庭狐火の段」の公演をPRする吉田勘彌さん(左)ら

に諏訪清陵高校
付属中学校(諏
訪市)で全校生
徒240人を対
象にした特別公
演も開く。演目
は「伊達娘恋緋
鹿子 火の見櫓
の段」。江戸時代
の文楽衣装を白
本茜と藍で再現
した衣装をまと
った「八百屋お
七」の人形を使



SHIKIオン
ライストアの
QRコード



下諏訪町観光
振興局の
用QRコード